



雨にぬれるあじさいの中を…

——とじておくくと便利です——

あなたと市政をむすぶ☆☆☆☆

広報 **なんこく**

6/15 1985 No.430

編集・発行／南国市広報委員会

——広報に載ったあなたの写真をさしあげます。企画広報係へお申し込みください——

南国バイパス沿いのポイ捨て缶を拾う青年団の皆さん



4000人が参加し一斉清掃

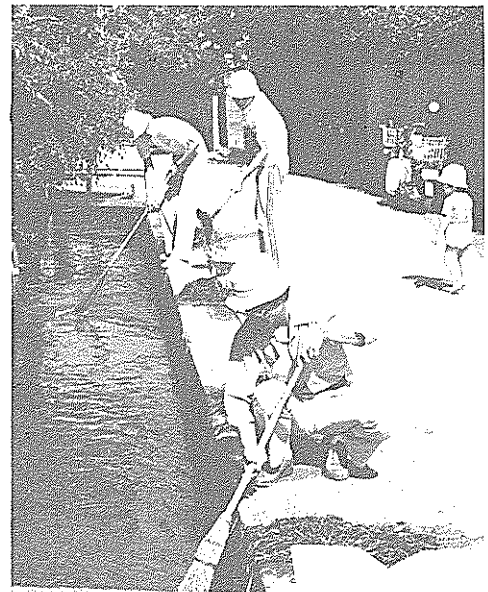
ポイ捨て缶などたくさん

環境美化行動の日の六月九日、恒例の市内一斉清掃が行われ、各地区で早朝から清掃作業に取り組みました。
この日は、各地区会、老人クラブ、婦人会、子供会、青年団などの団体が積極的に参加。道路沿いのポイ捨て缶、ビン類の回収、河川や海岸など、日ごろ清掃する機会の少ない場所を、地域住民が一致協力し、泥まみれになりながら清掃に汗を流しました。
市からは、各課長がトラックに分乗しごみの収集に回りました。この日集まったごみは約百十五トンのぼり、多くはポイ捨て缶やびんなど。

今年三月、川上一斉清掃をした舟入川のように、河川へのポイ捨てや不法投棄は後を絶たず、また海岸地域のごみ問題も深刻となつていきます。
これら原因はやはり、市民一人一人の美化意識の低さが大きな問題ではないでしょうか。「自分一人くらいが捨てても……」と、安易な考えから、大きなごみの山が生まれてきます。美化意識をしっかりと持って、お互いが注意し合っていくまでも美しい自然を守っていきましょう。



川に入ってゴミ集め（上末松）



土やごみを上げきれいな川に（大桶）

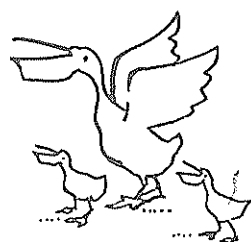


婦人も協力し溝さらえ（久礼田）

子供たちの健やかな

育ちを支えるために

岡村順一氏（高知学園短大助教授）



今、幼児期から青年期までの日本の子供たちの育ちぶりについて、多くの問題をほらんでいることが指摘されています。しかし、その時々問題として騒ぐだけではなかなか解決しません。幼児からの成育史の中で、家庭や社会環境を含めた発達筋道全体の中で、抽らえていく必要があります。

子供の問題は大人の問題、そして現在という時代の問題です。子育てが困難な状況にあればこそ、もう一度子供の歴史に立ち返って学び、それを基盤に問題を分析し、子育ての文化を新しく作り出すことが求められています。

ロイド・モースは『子供の歴史』という本の中で、古代から現代までの子育ての歴史を書いていきます。まず、古代社会の子育ては子殺的な様式で、子供を生かすも殺すも家長の権限でした。そして、中世から近世にかけては子供

的な様式です。僧院には回廊式の窓口があり、人に顔を見られずに子供を置いていけるなど子捨てが一般に広がっていました。十八世紀になると、子供の中に親が入り込んで良くも悪くもいろいろ干渉する子育てが一般化します。そして、現代では子供の発達を助ける子育ての様式が広がっています。子育てについて人間社会以前の度合いが高くなるに従って一度に産む子供の数が少なくなってきました。そして、少なくなるに従って親が子供を保護し育てる行動が現われ、その行動が持続化、複雑化されてきます。それが人間の段階になると、進化の量の差以上に他の動物とは違う質的な差がいろいろ出てきます。

スイスの動物学者ホルトマンは人間の子供は両親によって手厚く養育される様式があると言っている

ます。こうした人間の養育は、ある面では本能のような生物学的なものもありますが、社会生活なしには存立しない特質があります。原始的な共同社会での子供たちは、生活を支える労働力として価値ある存在で、厳しい体罰はあまりなかったようです。しかし、部族の人口が多くなると子供を殺すこともありました。

中世では、児童期は大人になるためのやむを得ない仮の姿であると考えられ、子供が子供らしい行動をとると厳しいしつけがなされました。

そして、中世の封建社会が崩壊し、いろいろな機械が発明され熟練士の仕事を子供ができるようになること、安く使えるということなどで強制的に働かされることも起こってきました。小学校一年生くらいの子供が一日十四時間も働かされ

た時代もかつてあったわけですね。歴史の中から現在の状況を見るとき、子供の問題を子供のせいにするだけでは解決しません。子供を育てるのは大人です。我々自体の子育てを考え直す必要があります。

かつて日本では、子供の生活は学校の勉強と労働と遊びから成り立っていました。現在では、まず学校の勉強と塾での勉強、そして遊びとテレビの生活です。三十年くらい前の子供と比較すると、労働とか手伝いの時間が短くなり、勉強とテレビを見る時間が増えまといわれますが、テレビの時間を遊びの時間に入れると必ずしも減ってはいません。

そこで問題になるのは、子供が発達していきけるような遊びをしているかどうか、そしてもう一つは、手伝いの時間が非常に少なくなっていることです。

本当の手伝いというのは、大人

と一緒に一つのことをしていくことです。子供はお父さん、お母さんと一緒にやりながら、そこでいろいろ我慢もして忍耐力もつけていきます。そして、やり遂げたら親から「よくやった。ありがとう」と言われます。すると子供は、お父さん、お母さんはすごいなあ、あこがれを持ちながら自分で遊ぶときにいろいろ工夫をしたりします。ですから手伝いをもう一度見直して、生活の中にきちんと取り入れていく必要があります。

また、遊びにしても体が強くなったり、友達どうしの交流で社交性が身に付いたり、情緒的に安定するとか、いろんな要素を多く含む遊びを生活の中に取り入れることが大切ですね。そして、それを保証するのは大人の役割です。子供たちの発達する権利は、この社会に生きる大人を通じて実現されなければなりません。

今、世の中がインスタント化されています。しかし、子供を育てることに手はかけなければなりません。子供は我々の歴史をつなぐ掛け橋です。その子供を守っていくためには断絶された子育てではなかなかうまくいきません。共にはぐくむ教育、共育ての道をもう一度探り直していくことが必要です。

坂本龍馬祖先の墓

〇〇市指定の

史跡に

今年は龍馬生誕百五十年。多くの催しなど龍馬ブームでにぎわっていますが、南国市才谷地区には、龍馬の祖先の墓があり、このほど市の史跡として指定されました。

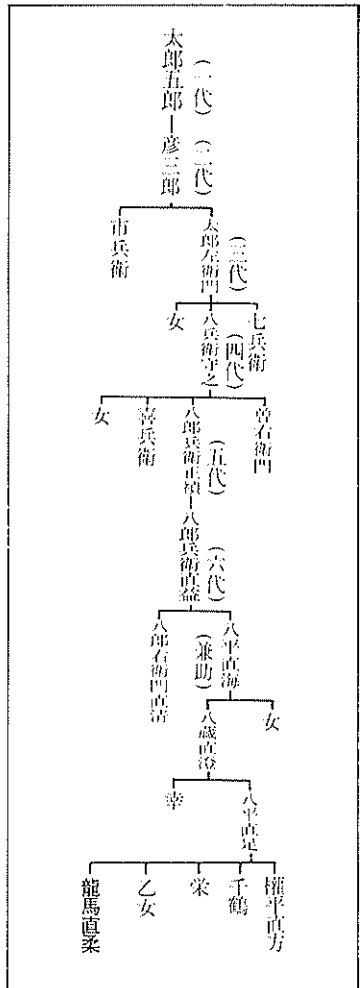
以下、市文化財めぐり案内（市教育委員会発行）から――。



二代彦三郎、三代太郎左衛門の墓



初代太郎五郎の墓



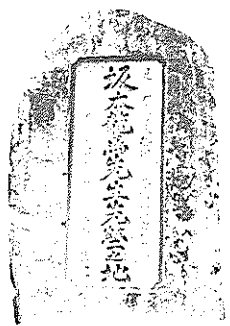
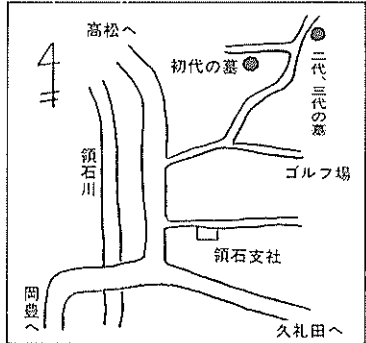
石室の背面に
明和四丁十一月吉日
六代裔孫
坂本八郎兵衛直益
長男 兼助直躬
次男 八次直清
とある。

二代彦三郎、三代太郎左衛門の墓は、ここより上ること数百石の

大浜屋敷にあり、地元の奉仕で墓域は常に清掃せられ、四季とどりの花が供えられている。坂本氏の先祖は江州坂本よりきた、明智光秀の裔であるといわれるが、真偽のほどは明らかではない。

四代の八兵衛のとき、寛文年中（一六六一ごろ）高知の城下に移り、本庁筋三丁目東南角で質屋業、酒造業をはじめ業績が大いに上がった。当時城下の分限者に、中央では仁尾久太夫と櫛屋道清があり、下町では酒屋の根来屋又三郎、上街では才谷屋八兵衛があるといわれるように出世した。

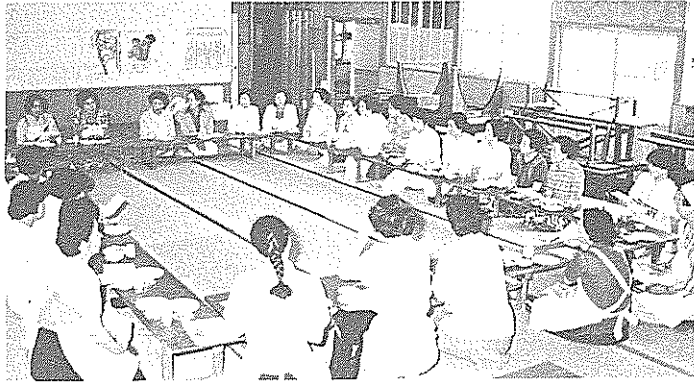
六代の八郎兵衛に二人の子があり、兄の兼助が郷士の職を買って、本庁筋二丁目別居した。それから三代、風雲児坂本龍馬が誕生したのである。



健康づくりの輪広がる

（食生活改善推進員）

地元で講習会



婦人32人が集まり、正しい食生活について勉強した

今年三月、一年間の講習を終わり、三十六人の食生活改善推進員が誕生。五月二十二日、推進委員の中沢政さん、橋田まゆみさんの二人が、地元での伝達講習会を三和地区公民館で行い、三十二人の主婦が集い熱心に勉強しました。

今回は、「減塩と栄養のバランス」をテーマに、まず中央保健所の栄養士さんが講話。そして、各家庭から持ち寄ったみそ汁の塩分濃度の測定や、ひじきめし、大豆入りきんぴらなどの料理実習も行われました。

最後は、出来上がった料理を囲み、栄養士さん、駐在保健婦さんも加わり、毎日の食生活での注意点などを質問。栄養士さんからは「調味料など、隠れたところに塩が使われていることを知り、高血圧の原因となる塩分の取り過ぎに注意を」とアドバイス。また、手作りみそその作り方など、各家庭での食生活の知恵も出て、和気あいあいに話はずみませんでした。参加

明るい地域づくりへ

標柱を設置

（岩村地区）

子供たちへの一声運動で明るい地域づくりをと、岩村地区で、温かい家庭づくりを呼び掛ける標柱を設置しました。

今年四月、地区公民館運営審議会で、本年の新しい活動としてこの一声運動が取り上げられたもの。また、このほか環境美化運動として、川へゴミを捨てないように呼び掛ける看板も二十箇所に設置。

五月二十七日には、地区の人が集まり、子供たちの通学路や公民館の前など十二カ所に、標柱を建てました。

標柱には、「声をかけようどの子も同じ地域の子」「子の意見ま

した婦人も「貴重な話が聞け、大変になりました」と好評。この地区では今後、健康づくりの講演会を開くなど、健康教育にも力を入れていくそうです。

昨年初めて生まれた食生活改善推進員制度ですが、今それぞれの地区で推進員が講習会を開くなど、健康づくりの輪が大きく広がっています。

なお、五月二十九日には「第一



通学路など十二カ所に標柱を設置

「など」と書かれています。子供たちよりむしろ、大人に考えてもらいたい標語が多いようですが、地区の人たちも「これを見て、みんなで声をかけ合うような地域づくりを進めていきたい」と、話していました。



自己紹介で一人一人が抱負を述べた



農業の担い手として出発

◆◆新就農者激励会◆◆

これからの農業の担い手、そして、地域のリーダーとして出発する青年を励まそうと、五月二十九日、市内のレストランで「新就農者激励会」が開かれました。

この激励会は、農家の後継者で組織している「南国4日クラブ連絡協議会」が主催し、毎年

開かれているもので、当日は二十歳から二十六歳までの新就農者七人をはじめ関係者ら約三十人が出席。

まず、市4日クラブの岡雅司会長が「今年は国際青年年です。若い力を結集して地域社会の発展に頑張っていきたい」とあいさつ。続いて、溝渕市農業委員長、

きまつりは一日中盛り上がりつていました。

大盛況「さつきまつり」

近永日曜市コーナーも 《土曜市》

土曜日恒例の「さつきまつり」が五月二十五日に開かれ、朝から主婦やお年寄りなど大勢の人でにぎわいました。会場では、さつきの展示と品評やヨモギのもちつき、チャリティーオークション、さつきの苗木無料配布など盛りだくさんの催し。また、姉妹市の愛媛県広見町の近永日曜市から約二十人が来高。日曜市コーナーも設けられました。

そして、土曜日から鴨子、近永日曜市から広見音頭のレコードがそれぞれに贈られ、市商工会婦人部と一緒によさこい鴨子踊りを踊り交歓するなど、さつ



見事なさつきを見入る買い物客

水の事故から守って

夏を告げるエンコウ祭り



水の事故から守ってと祈る子供たち

「エンコウ様水の事故から守って」と祈る「エンコウ祭り」が六月一日、前浜や久枝の後川、秋田川に架かる橋のたもとで行われ、楽しい祭りに子供たちの歓声が沸いていました。

子供たちは、お社に手を合わせ「水の事故から守って下さいエンコウ様」と祈ります。夕暮れ時、ちようちんに灯が入り、近所の人たちが家族連れでお参りに来るころは、まさにお祭りは本番。ダンボール箱にどつきり用意した花火に、次々に火をつけると「ピュッ、パン、パン」と、あちこちから威勢のよい音が響き、子供たちは歓声をあげて、はしゃぎまわっていました。

岡崎市営農改善会副会長、西森南国農業改良普及所長らがそれぞれ励ましの言葉を贈りました。そして、新就農者七人が自己紹介し、これからの農業への取り組みについて力強く抱負を述べた後、市4日クラブから一人一人に記念品が手渡され、全員で門出を祝いました。

掛時計にツバメが巣作り



○西島の

依光さん宅 ○

ひつきりなしにえさを運ぶ親ツバメ

西島の依光俊宏さんの二階事務所に、ツバメが巣を作り、かわいいひなが三羽、すくすくと育っています。

四月になり、部屋をツバメが飛び回るのをよく見かけたそうです。実際に巣作りを始めたのは四月の末ごろ。それから約一ヵ月後の五月の末に、産毛に包まれたひなが三羽誕生し、親ツバメは、ひつきりなしに巣にえさを運び、大きく開いたひなの口へ、優しく口移し。ときには、とんぼやちようちよのような大きなえさも取ってくるそうです。

巣は、掛時計の上にあります。が、時報を打つ大きな音にも驚かず安心したようです。事務所に勤める山崎さんは「ひなを見てみると、心がなごむし、本当にかわいい」と思われ間借人の成長を楽しみにしています。

6月23日

防災訓練

災害に備えて

- 市では六月二十三日(仲)、防災訓練を行います。これは、災害対策本部を市役所に設置し、各地域の消防分団の協力を得て避難訓練、警戒訓練を行うものです。
- 当日は、消防車などがサイレンを鳴らして走行しますので、ご注意ください。
- 避難訓練：高知工業高専 切正寮、清風園
- 警戒訓練：北部山間地域



農薬の事故を防ごう

農薬危害防止月間(6月1日~30日)

- 農薬は農産物の病害虫防除には欠かせないものですが、農薬には危険なものもありますので、使用にあたっては次の注意事項を十分守ってください。
- ① 農薬を散布するときは、ゴム手袋、マスク等を着用し、防除着を整え、散布機具が故障しないよう事前によく整備しておく。
 - ② ラベルに表示された濃度、使用量等を守る。
 - ③ 体調のすぐれない人は、散布作業に従事しない。
 - ④ 農薬が付着したときはすぐ洗う。
 - ⑤ 炎天下やハウス内のように、高温多湿で通風の悪いところでは、特に長時間の作業を避け、涼しいときに交替で行う。

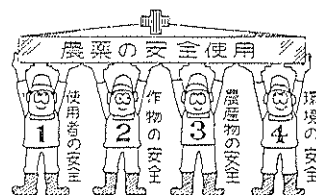
今月の納税

県・市民税(1期分)

納期限は6月末日です

〔南国農業改良普及所、南国病害虫防除所、産業経済課〕

- ⑥ 作業後は、全身を石けんでよく洗い、防除衣は毎日取り替え、飲酒を避け夜ふかしをしない。
- ⑦ 農薬は、必ず他の物と区別し、子供の手の届かない鍵のかかる場所に保管する。



市の統計 5月

60. 5. 31現在

《面積》

124.98km²

《人の動き》

人口 47,694人

(前月比10増)

うち男 23,153人

女 24,541人

世帯 16,688世帯

出生 53人

死亡 33人

転入 186人

転出 196人

《交通事故》

発生件数 45件

死者 0人

傷者 50人

《火災》

発生件数 2件

うち建物 2件

車両 0件

その他 0件

被害額 2万円

《救急》

出動回数 112回

うち急病 52回

交通事故 31回

一般事故 18回

その他 11回

《建築確認申請》 33件

《開発許可申請》 10件

《農地転用許可申請》 6件

鉄道、電車、バスの利用人員の減少が続く、維持すら困難な路線が生じています。これに歯止めをかける対策として、六月から毎月二十日を「鉄道・電車・バスの日」と定め、住民の皆さんの積極的な

毎月20日は

鉄道 電車 バスの日

当日は特別乗車券で割り引き

利用をお願いすることになりました。また、交通事業者(土電、県交通)の維持を図り、マイカーの利用で少ないお年寄りや子供、学生の大切な足を守って、こうとうというもので、県、市町村、交通事業者が中心となり、県下全域で行われるものとします。

「メロン」を郵便小包で

南国の味覚「西島のメロン」を、ふるさと小包として取り扱っています。お中元、ご贈答にご利用ください。申し込み方法、南国郵便局内「南

方面別	価格
四国・中国・近畿・大分	三、六六〇円
関東・中部・北陸・九州	三、八一〇円
東北・北海道・沖縄	三、九六〇円

税率

(ア) 均等割

市民税1500円、県民税700円

(イ) 所得割

区分	課税標準(単位万円)	税率%	控除額 円
市	20以下	2.5	0
	20を超え 45まで	3	1,000
	45を超え 70まで	4	5,500
	70を超え 95まで	5	12,500
	95を超え 120まで	6	22,000
	120を超え 220まで	7	34,000
	220を超え 370まで	8	56,000
	370を超え 570まで	9	93,000
	570を超え 950まで	10	150,000
	950を超え1,900まで	11	245,000
民	1,900を超え2,900まで	12	435,000
	2,900を超え4,900まで	13	725,000
	4,900以上	14	1,215,000
税	150以下	2	0
	150以上	4	30,000

税務課から

おわびと訂正

六月十日に、「昭和六十年度市民税・県民税納税通知書」を、皆さんにお送りしましたが、その裏面に記載されている税率(所得割)を、間違えて印刷してしまいました。おわびし、左表のように訂正させていただきます。

〔税務課市民税係〕

児童手当受給者の方へ

現況届は6月30日まで

児童手当を受けている人は、毎年六月十一日から三十日まで「児童手当現況届」を、市民課給付係まで提出していただくことになっています。まだ提出していない人は、六月三十日までに必ず提出してください。また、今年六月以降は受給資格がなくとも現況届も提出してください。受給者の前年の所得の状況と、六月一日現在の養育の状況などを確認するための届けです。もし提出されない場合は、引き続き受給資格があっても、六月



〔市民課給付係〕

新刊案内

〔一般図書〕

目立たず隠れずおとつとやつて二十年(小松政夫)▼外から見た日本語(國語学会編)▼忙しい母さんの手ぬき料理(坂本廣子)▼絵本、童話の選び方(波谷清規)▼コンピュータ(神田泰典)▼どんじり駅への長い旅(種田直樹)▼パンコン(河合正栄)▼読書で育つ子供のやるき(橋詰淳

子)▼長い午後(早瀬圭一)▼海も天才である(中村征夫)▼総理の犯罪(毎日新聞社編)▼離婚の構図(四方洋)▼熱い網(松本清張)▼日本の条件16(NHK取材班)▼日本アルマナック(教育社)▼聞き書長崎の食事(月山雅夫)▼人権白書(世界人権宣言中央実行委員会編)▼夫婦で読む年金の本(板垣勝幸)▼金融革命がわかる本(及能正男)▼緑の育児手帳(江尻光一)▼最新医学の現場(柳田邦男)▼糸井重里の萬流コピー塾(糸井重里)▼おじいさんの台所、おじいさんの台所二

年目(佐橋聖女)▼土佐弁さん(竹村義一)▼別冊毛糸だま85春夏手あみスタイル大全集(日本ヴォーグ社)▼フラワーオアシス6野の花・山の花(小学館)▼同訓異字辞典(中沢希男)▼解説河川環境(河川環境研究会)▼緑の証言(宮脇昭)▼全寮内力者鑑(波多野忠)▼日本の方言地図(徳川宗賢編)▼コンピュータの話(有澤誠)▼あそび(菅原道彦)▼歴史の群像①②(黒岩重吾ほか)▼女性の自画像・第II集①②(福添絹子ほか)▼もつと面白(大野祐吉)▼かなの基本、漢字の基本(岡田松雄)▼山本周五郎からの手紙(土岐雄三)

講演会

心を育てる教育

〔谷恒民〕

日時・6月22日(月)、午後2時30分
14時30分、聴講無料
演題・「心を育てる教育」
講師・谷恒民氏
場所・社会福祉センター(市役所北側)
主催・市教育委員会、高知カウンスリングセンター、南国地区防犯協議会

昭和二十年から四十年まで、福島県内の養護施設で子供たちの教育にあたり、昭和四十四年からは北海道にある我が国で唯一の男子教護院「家庭学校」の校長先生として、厳しい自然環境の下で、子供たちと寝食を共にしながら教育に携わっている。

ダム放流のお知らせ

今年も台風や集中豪雨が発生するシーズンとなりました。四国電力では、休場ダムから放流する場合、下流の皆さんの安全を守るため、警報車やサイレンでお知らせします。

いる方、または川にいる方は、直ちに安全な場所へ移動するようにお願いします。なお、放流する場合のサイレンの鳴らし方は次のようになっていきます。

日本舞踊の生徒募集

市立中央公民館のサークルに、新しく「日本舞踊」ができました。主として小唄、端唄、舞踊小曲等のやさしい踊りです。日時・毎週水曜日

午後7時~9時
場所・市立中央公民館
師範・坂東はつ子氏(☎3247)
世話人・原せつさん(☎4782)
会費・一ヵ月十五百円

●健康相談など

内 容	地 区	日 曜	受 付 時 間	場 所	対 象	
健康相談	下田村	金	9:00~10:30	下田村公民館		
	長岡東部	火	10:00~11:30	長岡東部公民館		
	久礼田	火	1:30~3:00	植田公民館		
	田 村	木	1:30~3:00	田村東部公民館		
レントゲン 成人検診	白木谷	金	9:30~11:00	白木谷公民館		
	奈 路	金	1:30~2:30	奈路公民館		
	大 篠	木	9:30~11:00 1:30~2:30	西野々公民館		
日本脳炎	全地区	金	8:30~12:00	吉川診療所 山本(博慈)内科 北村病院 谷医院		
		土				
		金				
子宮がん と 乳 腺 検 診	長岡東部	土		長岡農協	申し込み者	
	長岡西部	月		中央福祉館		
成人食講習会	国 府	月	1:30~	国府地区公民館		
胃 検 診	前浜、久枝	火	7:30~8:30	南部福祉館	申し込み者	
		木				
育児相談	長岡東部	火	1:30~3:00	長岡東部公民館		
リハビリ教室	全地区	水	1:30~	社会福祉センター リハビリ室		
三種混合 (百日ぜき ジフテリア 破 傷 風)	"	水		個人通知者		
栄養教室	"	水	10:00~	大篠地区公民館	申し込み者	
レントゲン 成人検診	大 篠	月	9:30~11:00 1:00~2:30	篠原中央公民館		
		火	9:30~11:00 1:00~2:30	市立中央公民館		
	岡 豊	火	9:30~11:00 1:00~2:30	岡豊地区公民館		
		木	9:30~11:00 1:00~2:30	定林寺公民館		
	久礼田	火	9:30~11:00 1:00~2:30	領石公民館		
		水	9:30~11:00 1:00~3:00	久礼田小体育館		
	愛の献血	全地区	月	10:00~12:30 1:30~3:30	サニーマート	
			火	9:30~11:00 12:30~3:00	岡豊地区公民館 駅前ショッピングセンター	
	健康相談 育児相談	十 市	月	10:00~3:00	十市支所保健婦室	
		稲 生	金	10:00~3:00	稲生地区公民館	
健康相談 子宮がん と 乳 腺 検 診	日章、岩村	水	9:30~3:00	立田青年の家保健婦室		
	長岡西部	水	1:30~3:00	中央福祉館		
食生活推進員 再 研 修	全地区	木	10:00~	大篠地区公民館	7月5日 から変更	
育児相談	大 篠	8 月	1:30~4:00	社会福祉センター 保健婦室		
			1:30~3:00	国府地区公民館		
	岡豊、上倉	"	"	岡豊支所保健婦室		
		"	"	中央福祉館		
	胃 検 診	三 和	火	7:30~8:30	三和地区公民館	申し込み者
リハビリ教室	全地区	水	1:30~	社会福祉センター リハビリ室		

●金属類の収集

日 曜	地 区	備 考
月	久礼田	第4月曜日
25 火	物部、稲生	" 火曜日
26 水	大篠	" 水曜日
28 金	岡豊	" 金曜日
7 月	三和	第1月曜日
2 火	野田、後免、宇田	" 火曜日
3 水	長岡	" 水曜日
5 金	大篠	" 金曜日
9 火	国府、岩村、岡豊、三軒家	第2火曜日
10 水	久礼田、瓶岩、上倉	" 水曜日

●不燃物(金属類以外)の収集

日 曜	地 区
7 月	1区~8区、南小巻、北小巻、祈年団地
22 土	瓶岩、上倉
24 月	国府、岩村
25 火	笠ノ川、八幡、小蓮、定林寺、滝本、蒲原
26 水	中島、常通寺島、江村、小巻、三軒家
27 木	植田、久礼田
28 金	植野、領石
29 土	十市北部、県住蒲原団地
7 月	十市南部
2 火	里改田、片山
3 水	浜改田
4 木	前浜、下島、久枝
5 金	立田
6 土	田村
8 月	物部
9 火	稲生
10 水	能間、野田口、城陸、榎田町、朝日町

●休日在宅医

日 曜	当 番 医	電 話
7 月	秦泉寺内科(大埴)	☎3928
30 日	市原内科小児科(大埴)	☎3915
7 月	岡豊病院(岡豊町)	☎2345

南国市役所.....〒783南国市大埴甲2301 ☎63-2111(代)

領石支所☎62-0020 岡豊支所☎64-2423 十市支所☎65-8401
水道局☎63-1234 市民体育館☎64-3498